

中央会やまぐち



特集

- ①決算関係書類等作成のポイント
- ②山口県令和5年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

Close Up組合 山口県コンクリート製品協同組合
中央会TOPICS
組合TOPICS
景況動向

4

2023
APR

Vol.780



山口県中小企業組合士会では、3月11日(土)、先進組合・企業への実地視察研修を行いました。下関唐戸魚市場仲卸協同組合、割烹旅館寿美礼、下関酒造株式会社へ伺い、取り組みなどについてお話を伺いました。

山口県中小企業組合士会 (実地視察研修)



代表理事
河野通晴 氏

山口県コンクリート製品協同組合

〒744-0004 柳井市柳井1740番地1

TEL 0820-24-6177

FAX 0820-24-6178

代表理事 河野 通晴



RPAを活用した業務改善の取り組み

当組合の成り立ち

当組合は県内のコンクリート二次製品を製造・販売する事業者が、“顧客ファースト”を目指し、窓口を一本化することによる利便性向上や満足度向上等を目的に、平成24年に設立しました。

コンクリート二次製品を取り巻く環境

当組合が取扱うコンクリート二次製品とは、道路の側溝や縁石等に使用するコンクリートの部材のことで、県内の道路や河川等で使われており、当組合の製品が縁の下の力持ちとして、皆様の生活を支えているものと自負しています。



河川護岸を守る
「張ブロック」



道路排水にお役立ち
「落蓋式U型側溝」



農業水路にお役立ち
「ベンチフリューム」



歩行者を交通車両から守る
「山口県型境界ブロック」

また、業界では、環境を意識した製品の製造・販売が始まっているなど、環境負荷軽減への取り組みも進んでいます。当組合としても、この流れに乗って今後これら環境を意識した製品の取り扱いを増やして行く予定です。

RPAの導入で業務効率化

現在、日本では人手不足が深刻化しており、2030年には644万人もの人手不足に陥るとされています。労働人口は今後右肩下がりと予想され、各企業は生産性を向上させ人手不足を解消していく必要があります。この生産性を向上させるために、パソコン上での定型作業を自動化することが出来るRPAの導入が注目されています。

当組合でも、共同販売事業の事務処理において、このRPAを活用しています。当組合の共同販売事業では、組合がお客様（需要者）から受注した製品を組合員が分担して製造しています。その際、製品は同一でも、「組合員」が使用している製品名と「組合」が使用している製品名とに違いがあるため、請求等の事務処理の際に製品名の変換が必要で、それに相当な時間と手間がとられていました。

そこで、RPAを試験導入し実証事業として取り組んだ結果、自動的にかつ瞬時に製品名を変換することが可能となり大幅な業務効率化が図られています。

今後の展望

当組合では、数年前から共同販売事業での取扱製品を大幅に増加させることで、業界のさらなる発展に努めております。今後も組合活動を通して、業界のみならず社会の発展に寄与できるよう努めていきます。

組合は決算関係書類等として**事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（または損失処理案）**を作成することが**義務付けられています**。

これらの決算関係書類等は、**通常総会の終了後2週間以内**に、総会議事録を添えて所管行政庁に提出しなければなりません。

以下に作成のポイント及び提出にあたってのチェックリストを記載しますので、施行規則に従った作成をお願いいたします。

◆決算関係書類等作成のポイント

■ 事業報告書

- 事業報告書は、通常総会において組合の事業年度内における事業活動等を組合員に報告する書類です。この事業報告書に記載しなければならない事項は施行規則で規定されており、この規定に従って作成しなければなりません。
- 事業報告書に記載しなければならない事項は大きく以下の3つです。
 - I 組合の事業活動の概況に関する事項
 - II 組合の運営組織の状況に関する事項
 - III その他組合の状況に関する重要な事項

■ 剰余金処分案（または損失処理案） ※株主資本等変動計算書はNG！

- 組合定款を今一度ご確認ください、定款に定められたとおりに「利益準備金」、「教育情報費用繰越金（法定繰越金）」、「特別積立金」の処理を忘れずに行ってください。
- 剰余金が発生した場合、**毎事業年度の当期純利益金額（前期繰越損失がある場合にはこれを控除した額）の10分の1以上を利益準備金**として積み立て、**20分の1以上を教育情報費用繰越金**として繰り越すことが法律で義務付けられています。（教育情報費用繰越金は、定款で教育情報提供事業を行うことを定めている組合のみ繰り越します。）
 - ※この積立等は、当期純利益金額が少額であっても行う必要があります。
- また特別積立金を積み立てることを定款で定めている場合には、**当期純利益金額（繰越損失がある場合にはこれを控除した額）の10分の1以上**を積み立てなければなりません。
 - ※平成27年の定款参考例改訂に伴い、定款変更することで、特別積立金の積立範囲を「出資総額に達するまで」と定めることも任意にできます。
- 利用分量配当および出資配当は、これらの積立等の処分後に行います。
- 当期末処分剰余金及び次期繰越剰余金がゼロ以下の場合には損失処理案を作成します。それ以外の場合には剰余金処分案を作成します。

◆決算関係書類等提出にあたってのチェックリスト

確認項目	確認事項	○/×
事業報告書	「I 組合の事業活動の概況に関する事項」「II 組合の運営組織の状況に関する事項」「III その他組合の状況に関する重要な事項」を作成しているか。	
財産目録	施行規則に基づき作成しているか。	
貸借対照表	施行規則に基づき作成しているか。	
損益計算書	施行規則に基づき作成しているか。	
剰余金処分案 (または損失 処理案)	利益準備金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	教育情報費用繰越金として、当期純利益の20分の1以上を繰り越しているか。(教育情報提供事業を行う組合のみ)	
	定款で定めている場合、特別積立金として、当期純利益の10分の1以上を積み立てているか。(非出資商工組合を除く)	
	利用分量配当・出資配当は上記の積立等の処分後に行っているか。	
	損失てん補を行う場合、定款の定めに従って取崩を行っているか。	

様式は本会HPに掲載しておりますので、この様式に倣い、作成をお願いいたします。
詳しい説明を希望される方は、お気軽に担当指導員にお尋ねください。



様式集はこちら
<https://axis.or.jp/dl>

特集2 山口県令和5年度当初予算 中小企業関連予算のポイント

山口県の令和5年度当初予算において、中小企業関連予算は、県の新たな総合計画である「やまぐち未来維新プラン」をはじめ、産業維新の中核を担う部として、「やまぐち産業脱炭素化戦略」や「やまぐち産業イノベーション戦略」などを踏まえ、本県の潜在力や強みを最大限活かし、本県活力の源となる産業力を大きく伸ばす取組を進めます。

その主な事業について、新規・拡充事業を中心に概要を掲載します。

■ 産業維新

新 中小企業デジタル経営転換支援事業 [169,504千円]

デジタル技術を活用し、生産性向上や既存ビジネスの変革等を目指す取組を支援するとともに、情報セキュリティ対策支援を実施することにより、中小企業のデジタル経営転換を促進します。

○ 中小企業DX人材育成事業 [95,770千円]

デジタル技術を活用したビジネスの実現を主導する人材の育成を図り、中小企業のDXの取組を促進します。

新 やまぐち中小企業脱炭素化促進支援事業 [143,038千円]

カーボンニュートラルを契機とした県内中小企業の持続的経営への転換と成長・発展を実現するため、県内中小企業に対し、脱炭素経営に向けた意識づけとともに、その取組を後押しします。

新 まちなかにぎわい創出プロジェクト推進事業 [80,500千円]

県内商業エリアのにぎわい創出に向け、商店街組合等が行うデータマーケティングに基づく来訪者増加に向けた新たな取組に係る経費を補助します。

拡 県内創業・事業承継促進事業 [116,315千円]

多様な創業や円滑な事業承継を促進するための一体的な環境整備の推進により、本県経済の持続的な成長と雇用の場の創出を図ります。

○ 中小企業制度融資 [融資枠 900億円]

新 脱炭素経営未来投資応援資金 [融資枠 20億円]

中小企業者が、気候変動対策をリスク低減と成長のチャンスと捉え、脱炭素経営による経営の変革を押し進め、新たな取引先やビジネスの獲得につなげていけるよう、資金面で後押しします。

新 スタートアップ創出促進資金 [融資枠 25億円]

スタートアップ時の融資において、経営者保証（経営者個人が会社の連帯保証人になること）を免除し、新たな分野への創業に果敢に挑戦する中小企業者を資金面で後押しします。

■ 物価高騰緊急対策

○ 中小企業原油価格・物価高騰等対策支援事業 [1,546,891千円]

原油価格や物価高騰等の影響により、売上や利益が減少している中小事業者等の経営基盤の強化を図るため、新たな設備等の導入による省エネルギーや業務効率化を図る取組を支援します。

○ 物価高騰対策EC送料支援事業 [122,875千円]

県内事業者が運営するEC（電子商取引）サイトで販売する送料を支援し、物価高騰の影響を受けている事業者の収益回復や消費需要の喚起を図ります。

○ 頑張るお店応援プロジェクト事業 [1,126,800千円]

店舗の資金支援と消費需要の喚起を図るため、プレミアム付きチケットの購入で店舗を支援するクラウドファンディングを実施します。

○ 小規模事業者応援キャンペーン事業 [214,000千円]

商工会議所等が実施するイベント等の経費補助により、物価高騰等の影響を受けている県内事業者の支援や消費需要の喚起を図ります。

詳しくは、山口県HP(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/82/148599.html>)
をご覧ください。



山口県HP

連合山口から要請書を受領

山口県中小企業団体中央会

3月2日(木)、連合山口から本会及び山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会に対し、「2023春の要請行動」として、要請書の提出がありました。本会からは坂本専務理事が出席し、連合山口の伊藤会長から、要請書を受領しました。

要請の内容は「賃金水準の追求」、「取引の適正化」、「人材確保等に向けた職場の基盤整備」、「良好な労使関係の構築」、「労働基準法の周知徹底」を柱とするものです。

これらの要請に対し、経済4団体からは、県内中小企業は、原材料・エネルギー価格の上昇に価格転嫁が追い付かず、収益の悪化が続き厳しい経営状況にあるが、問題意識は一致する部分も多く、真摯に議論を重ねていきたい等回答しました。
(総務企画部 後)



中央会 坂本専務 連合山口 伊藤会長

RPA成果報告会を開催

山口県中小企業団体中央会

本会では2月24日(金)、山口市「KDDI維新ホール」にて、中小企業クラウド型RPA共同利用化推進事業の参画事業者等に対し事業の成果報告会を開催しました。



本会では令和2年度よりRPAの導入に向けた実証実験を行い、その横展開を図ることで中小企業の生産性の飛躍的向上を目指すことを目的に、本事業に取り組んで参りました。報告会では、実証実験の実施や考察を通じて、RPAの共同利用による中小企業の生産性向上を図る仕組みを自立できる形で構築することができた旨の報告や、参画事業者を代表して山口県コンクリート製品協同組合からの事例発表を行った後、参画事業者による意見交換を行いました。

(連携支援部 小倉)

ものづくり研究開発支援セミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

2月28日(火)、山口市「山口グランドホテル」にて、広島県の国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)中国センターと共催で、ものづくり研究開発支援セミナーを開催しました。県内のものづくり関連企業の技術・研究開発を支援することを目的に産総研、中央会、中小企業基盤整備機構、山口県産業技術センターのそれぞれの取り組みの紹介があり、中小企業単体では研究開発に投資がしにくいため、研究機関と共同して革新的な商品やサービスを開発できることを知る良い機会となりました。

(連携支援部 佐々木)



DX導入セミナーを開催

山口県中小企業団体中央会

3月7日(火)、山口市「セントコア山口」でDX導入セミナーを開催しました。講師に中小企業診断士の伊藤勝彦氏をお招きしDXやデジタル化について学んだ後、実際にデジタル化に積極的に取り組まれている株式会社デナリファームの平岡誠氏に登壇いただき、デジタル化の取組事例などについてトークセッションを行いました。

DXは取り組むハードルが高いため、完璧を目指すのではなく、まずは身近なところのデジタル化から始めてみる必要があるとお話がありました。

本セミナーの様子は4月末まで配信しておりますので、ご視聴ください。



(連携支援部 岡村) [アーカイブ視聴はこちら](#)



地産外商スタートアップ商談・相談会を開催

山口県中小企業団体中央会



3月7日(火)、8日(水)、9日(木)の3日間、県外都市部に販路を持つ、株式会社コンタン 代表取締役鈴木正晴氏を招聘し、「地産外商スタートアップ商談・相談会」を開催しました。県内3会場で計22組合等が参加し、山口県内の魅力ある様々な商品が出展され商談・相談が行われました。商談に加え鈴木氏より各商品に対するアドバイスもあり、具体的で大変勉強になった、といった声がありました。

(総務企画部 後)

令和4年度組合青年部山口県研修会を開催

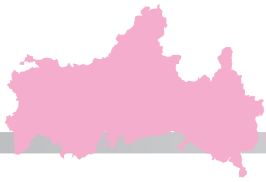
山口県中小企業団体中央会青年部

3月13日(月)、山口市「かめ福オンラインプレイス」にて青年部山口県研修会「RIZAP チームをその気にさせる術モチベーションマネジメントセミナー」を開催しました。

株式会社RIZAPの竹田津瑛信トレーナーを講師に、RIZAPに来られるお客様の目標をどのように実現させるのか、目標設定の引き上げの重要性、トレーナーはお客様の問題解決のパートナーであるなどのお話を伺うとともに、トレーニング体験を行いました。

(連携支援部 前田)





月次景況調査結果

令和5年2月期

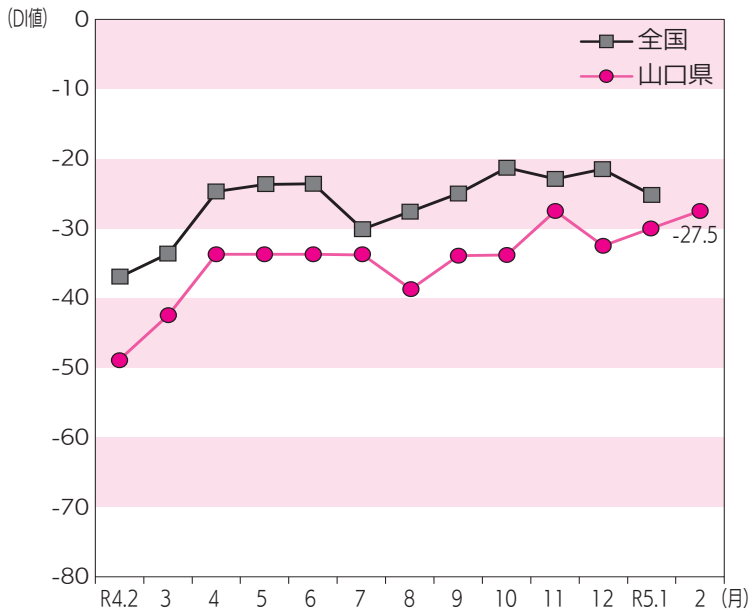
経済活動が正常化に向かい、コロナ前までには戻らないまでも、多くの業種において売上げが増加しているが、度重なる原材料費や電力料金等の高騰に対し価格転嫁が追いつかず、収益の悪化が続いている。

また、今後、電気料金等のさらなる値上げが見込まれることが、景況感に深刻な影響を与えており、2月期の景況DI値はほぼ横這いとなっている。

さらに、旅館業や製造業等にあつては、回復する需要に対応できる人員の確保が困難との報告があるなど、多くの業種において人手不足が顕在化しており、今後の企業経営への不安感が高まっている。

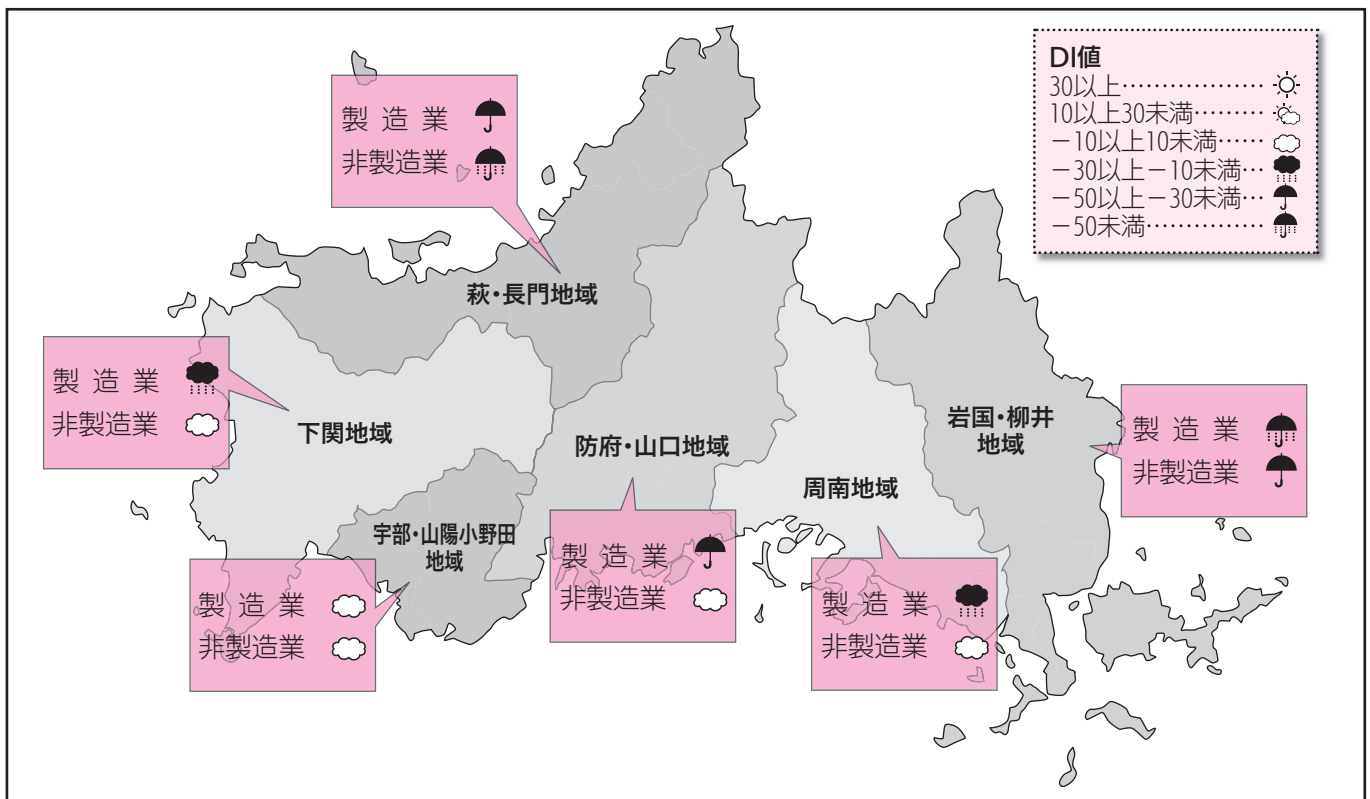
※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合

業界の景況DI値の推移 - 全国平均との比較 -



業種別の景況

	業種	前年同月比	前月比
製造業	食料品	☔	→
	繊維工業	☔	→
	木材・木製品	☔	→
	印刷	☔	→
	窯業・土石製品	☔	→
	一般機器	☔	↘
非製造業	輸送機器	☁	→
	卸売業	☁	↗
	小売業	☔	→
	商店街	☔	↘
	サービス業	☁	↗
	建設業	☔	→
	運輸業	☁	↗
その他	☔	→	



地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<https://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ もち米の需要減少、餅まきは縮小傾向。バレンタインも大手や知名度のある店舗に敵わない。卵の価格が2倍近くになり、収益が圧迫されている。(パン・菓子製造業) ○ 水揚げの減少が続いている。漁業者の減少が続いており、水産漁業者、水産加工業者の後継者不足は深刻である。(水産食料品製造業) ○ 米価低迷の中、肥料・燃料等コストの増加で製造原価が上昇し苦しい状況。中国輸入に頼っているリン酸の価格は前年比150%という驚異的な結果となった。(製穀・製粉業)
	繊維工業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料・電気代・人件費がアップし、納品・販売価格がアップ。国内の仕事量は全体的に少ない。技術者も世代交代で、高難度な仕事が可能な人材確保が困難である。
	木材・木製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 組合員の平均売上額は、コロナ前の令和2年2月に比べ15%の減少、コロナ禍の令和4年2月と比べ10%の減少。増加傾向の事業所と依然減少が続く事業所とが混在。
	印刷	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ対策もマスクの着用が任意となり、ゴールデンウィーク明けに2類から5類への分類変更などの転換期だが、原材料の上昇で企業収益悪化の状況が続いている。
	窯業・土石製品	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ セメント値上げの打診が各メーカーから来て、4月から約10%値上げする。公共工事発注量の大幅ダウンで、今期業績の回復は不可能である。(コンクリート製品製造業) ○ 全国旅行支援や市観光クーポンの恩恵か、売上は前年比やや増加。中国向けネット販売が好調だが、製造や小売の過程で支障がでている。(陶磁器・同関連製品製造業)
	一般機器	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気料金の高騰で、共同配管の酸素単価値上げが3回あり、前年度より合計23%の値上げとなった。4月分からは、従来比約18%の値上げとなる。(周南市) ○ 電力会社からは5月から3割程度の値上げとの通知があった。部品入手難で納期が定まらず工程が組みにくい、引き合いは多く、人手不足が深刻な状況。(防府市) ○ 電気、ガス料金、物価、大幅な賃金アップだが、価格転嫁が難しい下請け中心の中小企業にとっては早急に元受企業の発注単価の改善が必要。外国人の人材確保は、海外との競争が厳しく、国内でも集まりにくく転出も多い状況。(宇部市)
	輸送機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄道車両関係は順調だが、原材料や電気料等の高騰で収益は悪化。半導体製造装置の部品製造業で受注量の減少が見られる。従業員確保、技能継承に苦勞をしている。
	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫売上は昨年と同等であった。海苔の値段の高騰により入庫が激減したが、電気代高騰による保管料金の値上げで増収となり補填できた状況である。(乾物卸売業)
	小売業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大都市ではメーカーのイベントで売上がアップしている模様だが、山口県の店舗では良くなったという実感は無い。インバウンドの傾向もない。(化粧品小売業) ○ 例年2月は売上が良くない。本年は特に大型の家電が良くない。(機械器具小売業) ○ 売上はコロナ禍の前年同月比で約55%の増加。団体バス等観光需要が回復したが、原材料、電気料金の高騰が続き、収益が圧迫される厳しい経営状況。(各種商品小売業)
	商店街	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月のマスク自由化、5月の5類引き下げで期待感が高まるが、物価高騰、水道光熱費も上がり資金繰りが逼迫している。一般消費者の消費が鈍っている。(岩国市) ○ 「ひなまつりイベント」だが、消費者の買い控えか、買い物客がまばら。商店街Instagramを始めたので、若い世代の来街者に繋がることを期待している。(下関市)
製 造 業	サービス業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車検査証が電子化され、現在は旧車検証の時と変わらずスムーズな交付がされている。整備事業者にとって利便性が向上することは間違いない。(自動車整備業) ○ 恒常的な人員不足でもあり、一部サービスの提供が出来ていない状況。(旅館業 山口市) ○ 入浴の一部料金を10%値上げしたが、売上の増加には至らなかった。利用客数は前年比10%増となった。コロナの影響は少なからずあると思われる。(旅館業 長門市)
	建設業	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料の値上げや土曜日の工事現場に対処する為、見積単価と契約金額アップの交渉を行っている。休業日の増加で給与の負担が重くなっている。(左官工事業) ○ 資材の高騰が利益率を引き下げ、慢性的な人手不足が今後の企業経営の大きな不安となっている。今年度は県発注工事の受注額が減少している。(一般土木工事業) ○ 予定がずれた分を他社手伝いで埋めたり、物件が重なって残業が増えたり等苦慮している。材料、ガス・電気等が値上げ傾向で良い状況ではない。(鉄骨・鉄筋工事業)
	運輸業	☁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 倉庫保管は好調。輸送は若干鈍くなっている。軽油他の高騰が収益に影響を及ぼしている。2024年問題に備え運行時間の対応が課題。(一般貨物自動車運送業) ○ タクシー乗務員は労働条件が厳しい事もあって慢性的に不足している。高齢乗務員が退職し、その補充ができない状況。ウイズコロナで行動制限が緩くなり、需要が回復傾向にあるが、まだコロナ前(令和元年度以前)の▲39%付近であり、諸物価、経費が増加する中、たいへん厳しい経営状況。(一般乗用旅客自動車運送業)
	その他	☔	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国人技能実習生受入予定の事業所も、光熱水費の値上がり、社会保険料や税金等企業負担の増加と収益の悪化で、人員を増やすことが難しくなっている。(介護事業)

中小企業組合検定試験 祝合格おめでとうございます

12月4日(日)に実施された中小企業組合検定試験の合格者が3月1日(水)に発表され、山口県からは9名の方が合格されました。

中小企業組合検定試験合格者

一階 覚 さん (協同組合維新)	岡部杏花梨 さん (協同組合山九ハイウェイセンター)
橘野 弘一 さん (協同組合ベスト)	末永 智裕 さん (下関水産物卸協同組合)
田村 源基 さん (ブリックス・アセアン経済交流協同組合)	戸塚 美恵 さん (山陽グループ事業協同組合)
山本 寛一 さん (柳井土木建設業協同組合)	中央会職員 2名

中小企業組合検定試験とは？

中小企業組合検定試験には、組合の業務遂行に必要な「会計」「制度」「運営」の3つの科目があり、すべての科目に合格することで“中小企業組合士”の称号を与えられます。この中小企業組合士は組合運営に関するエキスパートであり、組合に携わる全ての方に取得して頂きたい資格です。

本会では、試験対策のための講習会や個別相談を行っています。

是非ご興味のある方はお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

山口県中小企業団体中央会 (担当：岡村)

☎ 083-922-2606



組合教室 (9月)



直前対策勉強会 (11月)

(令和4年度の様子)

組合TOPICS

事業継続計画(BCP)研修を開催

山口県建設業協同組合連合会

2月21日(火)、山口県建設業会館会議室にて、山口県建設業協同組合連合会事務局長会議を開催し、佐伯昌之中小企業診断士を講師に、事業継続計画(BCP)並びに連携型事業継続力強化計画についての研修を行いました。

山口県においても、大きな自然災害は過去何度も発生しており、事業者は命を守り、事業を継続させる取り組みが必要です。災害への備えとして、国の事業継続力強化計画は取り組みやすいものとなっており、策定の方法や連携による取り組み内容等について学びました。(連携支援部 前田)



女性活躍セミナーを開催

山口県管工事工業協同組合

3月7日(火)、山口市「防長苑」において、中央会の活性化支援事業を活用し、「第4回管工事・設備業界における女性活躍セミナー」を開催しました。



最初によまぐち働き方改革支援センターより、これからの女性活躍の在り方について講演が行われ、多様な人材を活用する必要性や山口県の建設業における担い手確保の取組について学びました。

その後、「今後、建設業で女性が活躍していくために今できることを探す」をテーマに、グループワークを行いました。女性が活躍できていない理由として、時間的制約や先入観等があげられ、解決するための取組や工夫について参加者同士でディスカッションを行いました。(総務企画部 宇多村)



産地ブランド「シマオリチェック」 の開発とDtoC販売への挑戦

「日本全国組合紀行」では、全国の様々な組合の取組について紹介します。
今回は、新たな産地ブランドづくりに取り組んだ福岡県の「筑後染織協同組合」の取組を紹介します。

筑後染織協同組合

福岡県筑後市大字久富70
理事長 光延 申二

〈設立年月日〉
昭和45年5月8日
〈組合員数〉
11社
〈組合事業〉
織物の製造又は染色



SHIMAORI CHECK
CHIKUGO, JAPAN



筑後染織協同組合HP
<http://www.chikugosennshoku.com/>

〈取組の背景・目的〉

当組合では、久留米織を生産する企業の発展に寄与する活動に取り組んできたが、産地の新たなブランドづくりは大きな課題となっていた。そこで外部デザイナー等の専門家や支援機関と連携し、世界に通用する「シマオリチェック」生地を使用した商品開発とクラウドファンディングを活用したDtoC販売（メーカーが仲介業者を bypass せずに自社のECサイト等で直接顧客に販売するビジネスモデル）に挑戦した。

〈取組の内容と成果〉

取組のきっかけは、平成30年に「久留米織復活プロジェクト」で商品開発を行ったことである。ファッションやデザインを学ぶ学生とのコラボレーションが刺激となり、伝統の技術と新しいデザインを融合させた産地ブランド開発の機運が高まった。令和元年に、久留米織の特長である縞柄を活かしたブランド開発のため、外部デザイナーや支援機関を加えて「シマオリチェックプロジェクト」が発足した。具体的な活動としては、①コンセプトづくりとブランドロゴ開発、②ワンピース等の試作品開発、③インスタグラムやHPでの情報発信、④展示会出展やマスコミへのリリース、⑤クラウドファンディングでの販売等に取り組んだ。

当取組は、組合員にとっても産地としての魅力を考えるきっかけとなり、またクラウドファンディングを活用し、応援金額約160万円、サポーター111人を得ることができたことは大きな励みとなった。外部関係者を交えたプロジェクトチームで商品開発とDtoC販売に挑戦し、「シマオリチェック」ブランドを確立できたことは当取組の成果であり、今後は協力関係を大事にしながら、産地ブランドとして「シマオリチェック」が定着するよう事業を進めていく。



香蘭女子短期大学と連携したシマオリチェックの先行展示



「シマオリチェック」
クラウドファンディングページはこちら

山口県中小企業団体中央会

第68回 通常総会のご案内

日時：2023年 **6月20日** (火)
13:30~14:30 (予定)

場所：「**かめ福オンプレイス**」
山口市湯田温泉4-5 ☎083-922-7000

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会
総務企画部（担当：田中・山本）
☎083-922-2606